



ネギ坊主がとてでもでにくいネギです。通常ネギ坊主ができてしまつて食へることができない6月頃に収穫することが出来ます。固くなりにくいので年中食へることができ、とても便利です。6月に株分けして、病気ににかかっておらず、形質も良く、花芽がついていないものを苗として植え直します。分けつさせて苗を確保しながら栽培を続けていくネギなので、分けつしやすいように土寄せはしないで生育させます。春先3月あたりに初めての追肥と土寄せをし、その後1か月おきに数回追肥と土寄せを行います。



なので、収穫を焦らずにじっくり実が太つてから掘り取りましょう。



通常のソラマメよりも豆は小さめですが、さが20〜30cmと長く、入り数も5〜8粒と多いのが特徴です。栽培した人の特権で、収穫直後は生食が可能です。えぐみがなく甘くサクサクしていて、今までのソラマメの感覚とは違う体験ができます。もちろん加熱して食べたほうが甘みも強く感じられ、より二層おいしいです。さやの上からつまようじで豆の皮に穴をあけるように刺して、電子レンジで30秒ほど加熱するのが最も簡単な加熱方法です。3月に種まきし、4月に定植、7月に収穫です。生育が旺盛で、草丈が高く分枝が多いです。倒れないようにネットや支柱を用意しましょう。ソラマメは酸性土壌と連作を嫌うので注意します。



今回紹介した種苗はグリーンファーム各店で取り扱っています。



日本初のスジとり不要のサヤエンドウです。収穫がしやすく、調理の下ごしらえもいらないので簡単にたくさん食べられます。耐寒性が強く、10〜11月の種まきなら収穫は4〜5月ですが、土がしまたり寒風が吹きつけるようでは越冬できません。不織布をかけたり、たづなりワラを敷いたりして寒さ対策をしましょう。4〜5月の種まきなら6〜7月が収穫になります。収穫が遅れるとスジが発生しやすくなります。サヤエンドウも連作を嫌います。エンドウを3年以上栽培していないところで育てましょう。



グリーンファームカレッジ 今年も開校!

3月からスタート!

グリーンファームカレッジでは、楽しい寄せ植えや家庭菜園に役立つ豊富な知識を習得できます。どなたでもお気軽にお申し込みください。

■会場 グリーンファーム中央店
上田市国分80-6(JANI JANIタウン内ユニクロ隣)

今年は…人気野菜の栽培方法、果樹の植え方、季節の寄せ植えなどを予定しています。お問い合わせ グリーンファーム中央店(担当:山口) TEL29-8177



気軽に家庭菜園

ほうさくClub!

第186回
今月は

ちょっとめずらしい作物の紹介

あけましておめでとうございます。1月のほうさくくらぶは毎年恒例となってきた、試してみたい作物を紹介します。1年の計は元旦にあり。わくわくしながら家庭菜園の計画をたてましょう。



青いうちに収穫してもピーマン臭さがなく果肉が厚くておいしいのですが、色付いた果実は驚くほど甘くフルーティで、非常に美味です。ピーマンが苦手なお子さんでもこれは食べられると思います。通常の緑色のピーマンよりローカロレンやピタミシエ、ピタミンCを豊富に含みます。生で食べてもよいですが、加熱するとより二層甘みを感じることが出来ます。育て方はピーマンと同じで、4月下旬から5月に定植します。特別な栽培をしなくても、果重100〜150g、果長20〜25cmの大きな実が次々に実ります。



ミニトマトは、高糖度や薄皮が追及されてたくさん品種が出回っています。その中でこのプレミアムルビーは、酸味と糖度のバランスがよく従来のトマトと



さが通常の落花生の2倍の大きさという、非常に大粒で甘みの強い落花生。おすめの食べ方は何と言っても塩ゆで! 生落花生1kgに水2ℓ、塩60gを目安にして、50分ほどじっくりゆでます。手が止まらなくなるおいしさです。5〜6月に種まき、収穫は9〜10月です。元肥の窒素は少なくしておくと上手な栽培のポイントです。また、子房柄(花が枯れた後、土に潜っていく部分。先端が肥大した落花生になる)が土に入りやすいように、花が咲いたらマルチはいいおいたほうがよいでしょう。晩生種



は味違う、ワンランク上の食味と評価される品種です。ヘタの際までしっかりと色づく濃赤色の果実は、つややかで食欲をそそります。育てやすさにも定評があり、斑点病、葉かび病、モザイク病、半身萎ちよう病に耐病性を持っていることや、果肉がしっかりとおり裂果が少ないのも、その要因の一つです。育て方はトマトと同じで、4月下旬から5月に定植します。